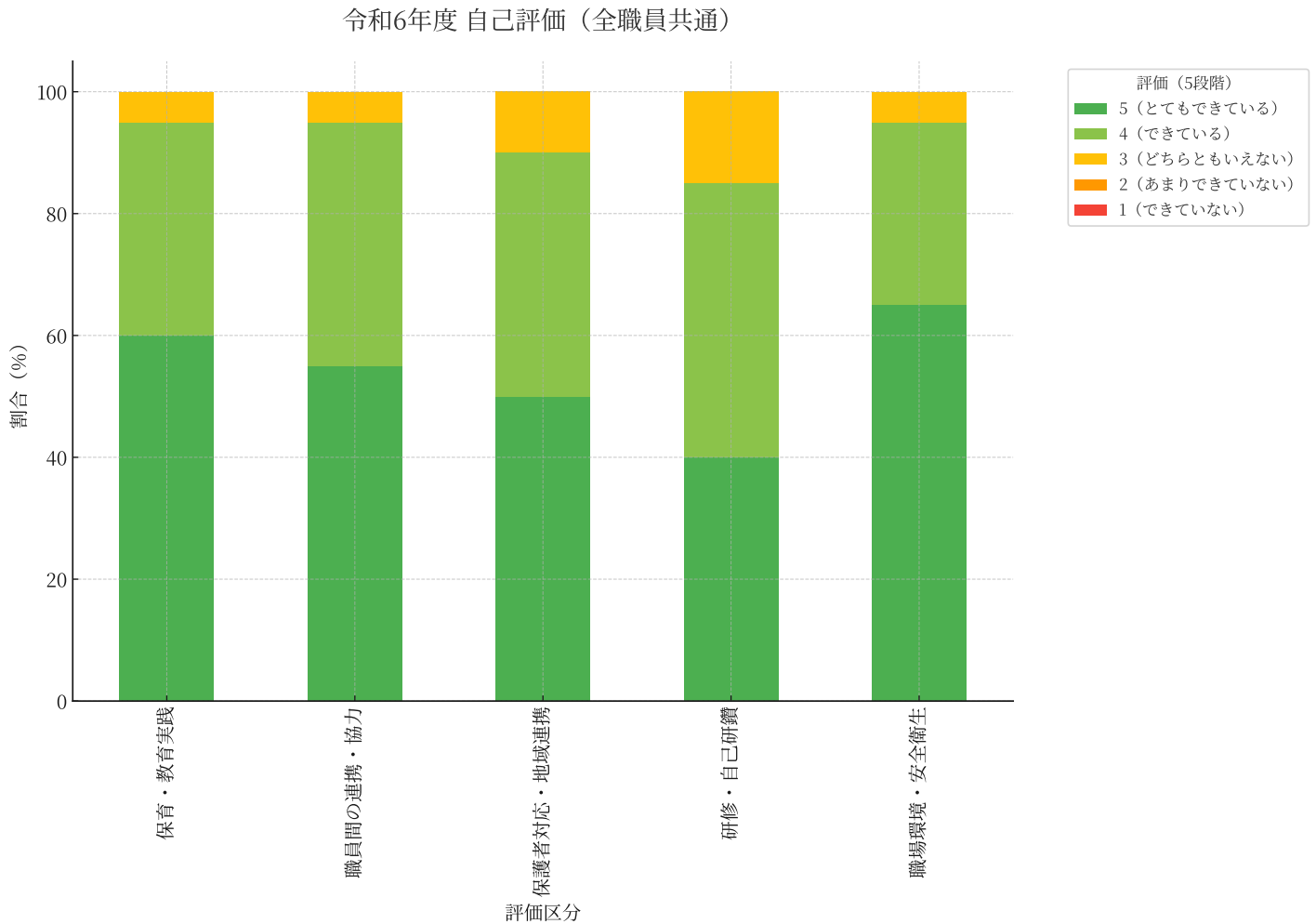


令和6年度 自己評価 総評（全職員共通）

■ 総評グラフ



■ 総評文

令和6年度の自己評価では、職員全体で保育の質向上やチームとしての協働意識が着実に高まっていることが示されました。

特に、「保育・教育実践」や「職場環境・安全衛生」に関する項目では、日々の保育の中で子ども一人ひとりに寄り添う姿勢や、安心・安全な環境づくりへの取り組みが多く、多くの職員から高く評価されています。

一方で、「研修・自己研鑽」に関しては、自己評価の中で他の項目に比べやや評価が分かれる傾向が見られました。今後は、職員一人ひとりが自らの専門性を高める機会をより主体的に活用できるよう、園内外の研修体制や学びの共有の場を充実させていくことが課題として挙げられます。

また、「職員間の連携・協力」についても高評価が多く見られ、日常的な声かけや情報共有、クラスを超えた支援体制が定着してきている様子がうかがえます。これまで築かれてきた信頼関係を大切にしながら、今後も互いの強みを活かし合い、より一体感のあるチームづくりを目指していくことが期待されます。

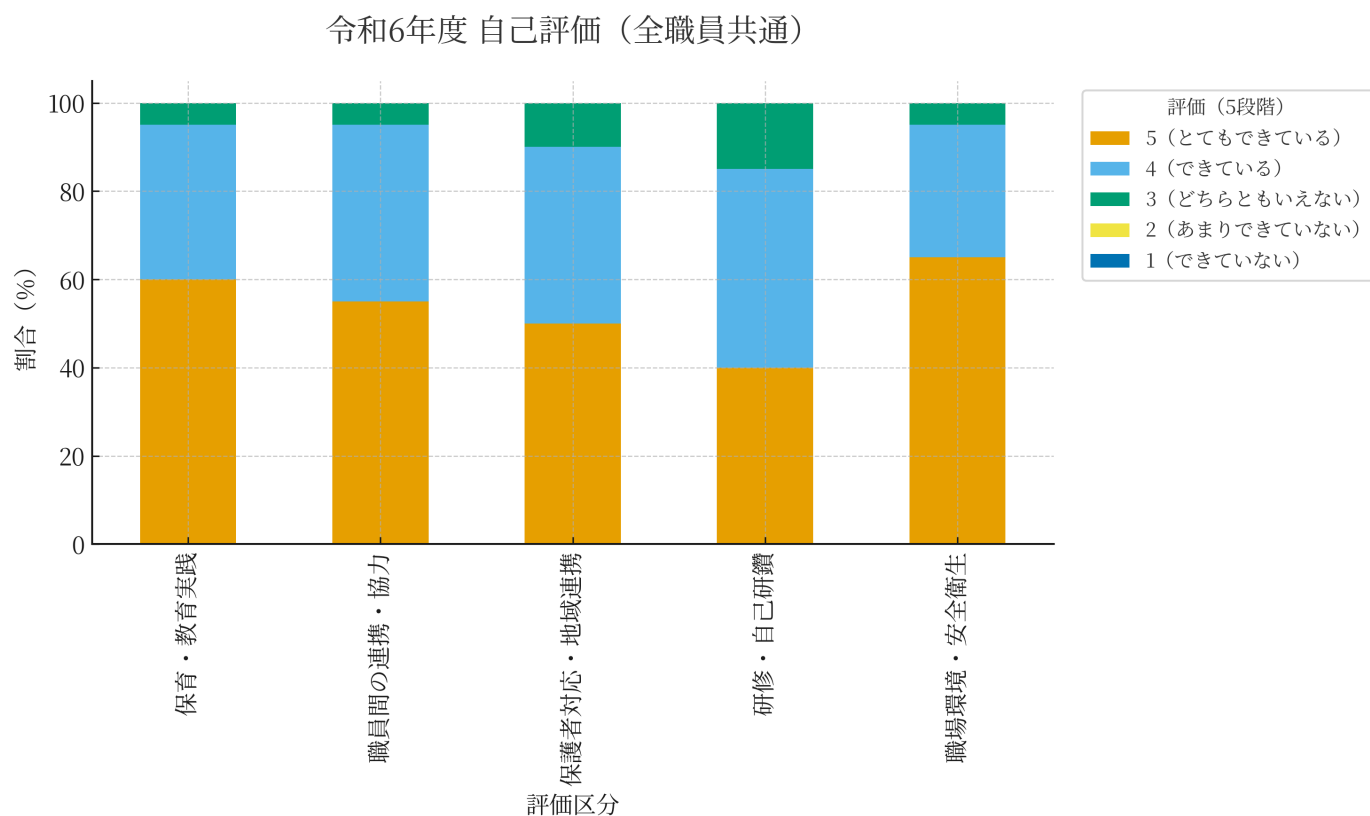
総じて、令和6年度は園全体として「理念の共有」と「チーム保育の充実」が進んだ一年であり、次年度に向けては「学び続ける職員集団」としての成長を意識した取り組みへとつなげていくことが望まれます。

浜田ハピネス認定こども園 令和6年度 施設自己評価 結果報告書

I. 全体の傾向

本年度の自己評価では、職員 30 名による回答をもとに、園全体の運営や保育・教育実践に関する意識や実践状況を可視化しました。全体的に「4（できている）」および「5（とてもできている）」の回答割合が高く、特に「保育・教育実践」「職場環境・安全衛生」の項目で安定した成果が見られました。一方で、「研修・自己研鑽」については他項目と比較してややばらつきがあり、今後の育成体制の充実が課題として浮かび上がりました。

<自己評価グラフ（全職員共通）>



Ⅱ．主な評価項目別の傾向

評価項目	評価の傾向	考察
保育・教育実践	「5」「4」が95%を占め、非常に高評価。	子ども一人ひとりへの丁寧な関わりや、主体的な活動の展開が定着。
職員間の連携・協力	「できている」評価が全体の9割。	情報共有や助け合いの文化が根つき、チームワークが強化されている。
保護者対応・地域連携	「4」評価が中心で安定傾向。	保護者との信頼関係構築が進み、地域行事への参加も積極的。
研修・自己研鑽	「3」や「4」に分かれる傾向。	自己啓発の機会を個々が積極的に活用できる環境づくりが課題。
職場環境・安全衛生	「5」「4」が95%以上。	安全面への意識が高く、設備点検や事故防止の体制が整っている。

Ⅲ．総合的な考察

浜田ハピネス認定こども園は「安定した保育の質」と「温かい職場風土」を維持しています。今後は「学び続ける職員集団」として、研修・研究・振り返りを通じてさらなる成長を目指していきます。

また、園の理念「個性輝く、幸せ一番」に基づき、子ども・保護者・地域・職員が共に育ち合う園づくりを推進していきます。